

2023/03/11(土) 斑尾山(北信五岳) 読図山行

メンバー:L 谷内・岩田・野中・石原・児玉・有賀・辻・見学者 M

5:00 茅野出発時の空は雲一つなく星や月がとてもきれいで快晴の予感。高速道路はガスっていて運転手さんは大変でしたね。到着した「まだらおの湯駐車場」はうず高く除雪された雪の壁に囲まれていた。

今日は読図山行。早速コンパスでルート探しをするが目指す目的地は除雪された高い雪壁の向こう。この雪壁を乗り越えるのはちょっと無理。リーダーが取り付き場所を探しに下見に行ってくれた。冬山はルートファインディングが必要だ。薄いトレース跡をたどりながら目的の尾根をめざす。早朝でザラメ状の雪の表面は凍っているが踏み跡をちょっとはずすとズボ！と沈みこむ。

雪原の先の廃家らしき建物の脇を抜け、林道を横切り尾根に取り付く個所を登っていく。最初の休憩場所でアクシデント発生。Aさんのメルカリで買ったばかりの靴底がはがれてきていた。リーダーがテーピングテープで上手に補修。Aさんだけアイゼンを装着して歩行することになった。

急斜面を登り始めると先頭はかなり沈む。前の足跡をちょっと踏み外すと2番手でもキツイ。先頭を若者2人がトレース付けしてくれたおかげでかなり楽に登れるようになった。だが皆背が高いので一歩が遠い。足を上げるのも一苦労。景色はブナ林となり下界は雲海に埋まっていた。

途中から緩斜面となりまもなくして狭いピークに着いた。張りだした雪庇があり「あれが山頂かな？」なんて一つ向こうの頂を見ていたら、何と振り向いた後ろの木に「斑尾山」の標識が括りつけられていて皆拍子抜け。山頂は狭く展望も無いことからすぐに大明神岳を目指す。10分ほどでたどり着いたこの標識も1M以上ある雪庇の下にあった。野尻湖を見下ろし、向かいに黒姫、高妻、戸隠、左に飯縄、右に妙高、北信五岳が勢ぞろいだ。春霞で墨絵のような展望が開けていた。

証拠写真撮影後、簡単なランチタイム。すぐ下山へと向かう。どのコースで下りるか悩んだ末、結局ピストンで下りるのが一番楽だろうと言うことになった。前走者のストロークが長く、思い切り足を延ばして下山するも、ときどき踏み抜き、滑りながら転びそうになりながらあっと言う間の下山となった。

陽差しは暑く皆長袖1枚の夏姿。半袖でもいかなりの陽気となり、雪あれど最早春山。3年前に来たときはバックカントリーのボーダーで賑やかだったが、今回は「しらびその会」独占状態の静かな山行を楽しめた。

荷物分散して持って下さった方々、お陰様で楽に登頂できました。感謝々です。「まだらおの湯」でソフトクリーム付入浴が何と¥500(入浴のみ¥450)しかも4種類選べるソフトクリームのトッピングにイナゴの佃煮3個、又はポッキー2本が付きささっていた。前代未聞、何ともびっくりなお得感。もちろん美味しくいただきました。大満足！

【コースタイム】 天気:快晴 春霞で墨絵のよう

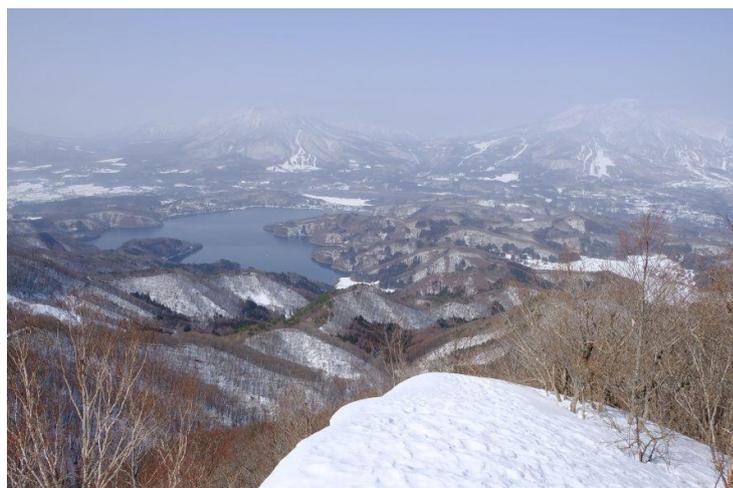
大池キャンプ場/まだらおの湯 7:20~10:10 斑尾山~10:20 大明神岳 10:47

~斑尾山~12:25 大池キャンプ場/まだらおの湯

雲海



野尻湖・飯縄山・戸隠・高妻山・黒姫山



ブナ林

